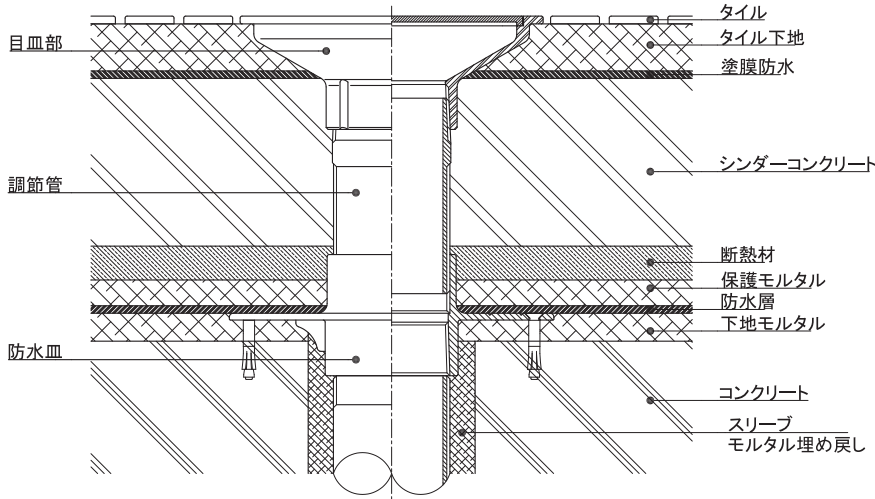


底面循環金具・底面角型循環金具

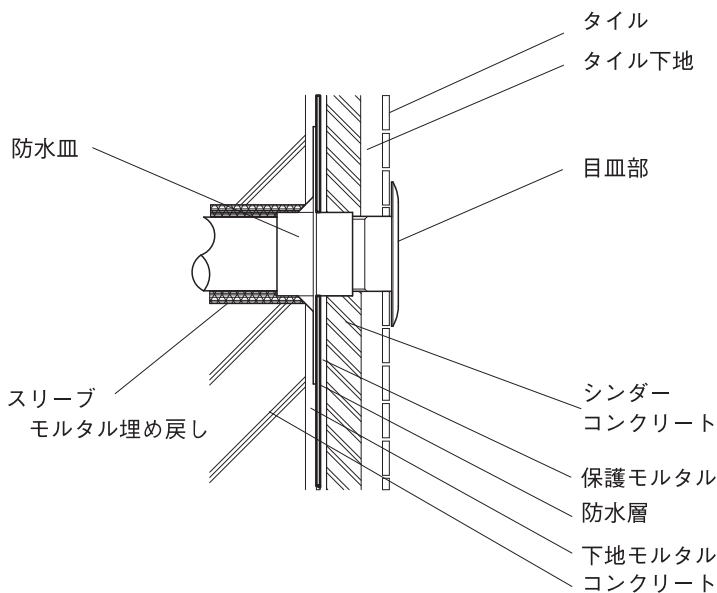


●防水皿施工後、タイル仕上面に合わせ調節管をネジ込み、高さを決定して下さい。

●調節管は片方がテーパねじで反対側がストレートねじです。標準は長さ 100 mm です。取付けはテーパねじが目皿部側でストレートねじが防水皿側です。高さの調節は防水皿へのねじ込み加減で行って下さい。口径によりますが 10 mm～20 mm のアジャストが可能です。

●調節範囲がこの寸法で収まらない場合は必要寸法で別途ご指示頂くか、別売の全ねじ調節管を適当寸法に切断して下さい。猶予がない場合は正確な必要寸法を計測の上、現地にて両テーパねじの長ニップルを作成し、組み付けて下さい。

側面循環金具・吐出金具



●タイルの仕上がり後、目皿部を防水皿へセットして下さい。

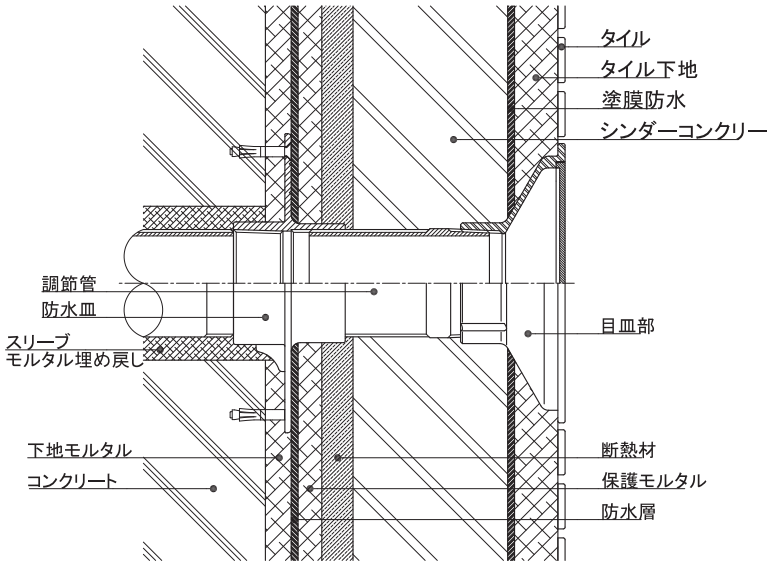
●目皿部の前後調節巾は 10 mm～15 mm 程度です。ねじ部は金属製品が全ねじで樹脂製品は有効長 28 mm です。事前に収まり寸法の確認を行って下さい。※防水皿が仕上タイル面に近すぎる場合や逆に遠すぎる場合は特注による対応となります。

●側面循環金具は開口率の制約が大きい為、吸い込み用として使用する場合は、目皿の流速が速すぎないように注意して下さい。

1 金具の取付け

2 側面・底面兼用循環金具・流量調整式吐出金具

循環金具施工説明書



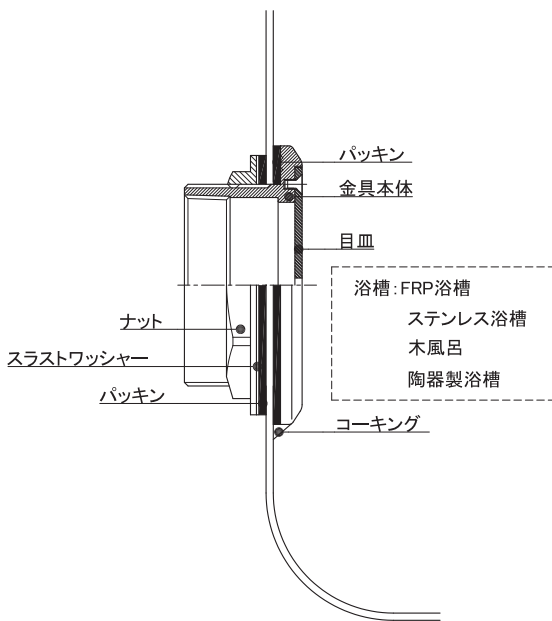
●防水皿施工後、タイル仕上面に合わせ調節管又は目皿部ををネジ込み、出入りを決定して下さい。

●調節管は片方がテーパねじで反対側がストレートねじです。標準は長さ 100 mm です。取付けはテーパねじが目皿部側でストレートねじが防水皿側です。高さの調節は防水皿へのねじ込み加減で行って下さい。口径によりますが 10 mm ~ 20 mm のアジャストが可能です。

●調節範囲がこの寸法で収まらない場合は必要寸法で別途ご指示頂くか、別売の全ねじ調節管を適当寸法に切断して下さい。猶予がない場合は正確な必要寸法を計測の上、現地ににて両テーパねじの長ニップルを作成し、組み付けて下さい。

側面・底面兼用のおねじ型目皿は調節管を使用しませんので事前に収まり寸法を確認して下さい。

挟み込み循環金具・挟み込み循環金具ロング



●浴槽内側より金具本体（白パッキン共）を差し込み、外側から黒いパッキン、スラストワッシャーの順にセットしてナットを締め付けて下さい。

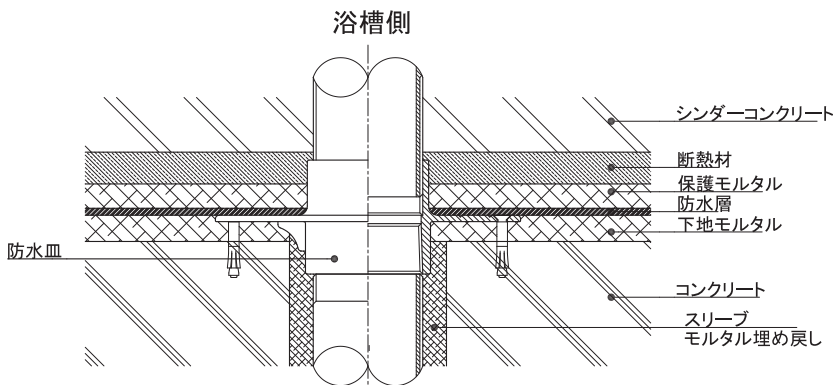
●取付け高さは、浴槽底部の出来るだけ低い位置をお勧めいたします（底面 R にかからない事）。位置が高すぎると水位低下の場合に吸い込み管にエアが混入したり、水位計連通口の場合は正確に水位が反映されません。

●ナットの締め付け時は、本体の共廻りにご注意ください。

●ゴムパッキンの材質は EPDM ですが、滅菌用の塩素などの影響で含まれているカーボンが流出し浴槽内壁にシミがでる場合がありますので、図の位置でのコーキングをお勧めします。

●円形や楕円形の浴槽への取付けはできません。

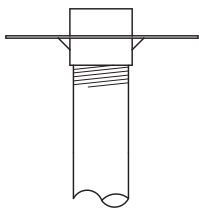
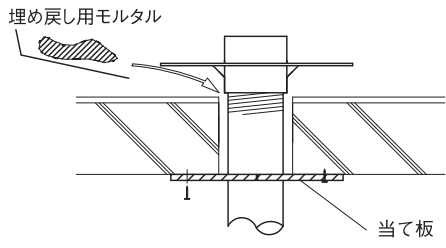
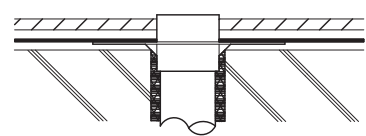
防水皿



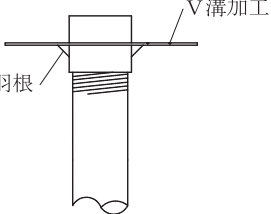
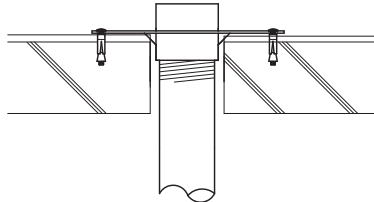
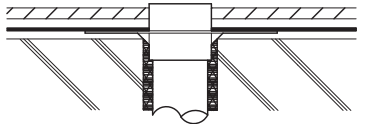
- 廻り止め用羽根をスリーブ方向に向けて使用して下さい。
- スリーブは確実に埋め戻して下さい。
- ビス固定での施工の場合、固定穴加工は標準外です。現地にて穴加工頂くか別途ご指示による対応となります。(チタン製は標準)

*下記は参考施工方法です。施工箇所の条件により適合しない場合がありますのでご注意ください。

廻り止め羽根をモルタル固定する場合

 <p>防水皿の廻り止め羽根のあるほうが現地施工配管との接続側です。適切なシール材を使用しねじ込んで下さい。</p>	 <p>埋め戻し用モルタル</p> <p>パイプ径相当の穴の開いた当て板を準備し、スラブ裏面からパイプを貫通させてコンクリート釘等で固定して下さい。当て板は二つ割りとした方が作業が簡便です。完了後、防水皿と床面に隙間を作りモルタルなどで天端まで確実に埋め戻して下さい。</p>	 <p>埋め戻して充填した材料が乾燥すれば当て板を撤去してください。廻り止め羽根が確実に充填材に絡んでいる事を確認して下さい。</p>
--	---	---

アンカーボルトで固定する場合（固定穴はステンレス製品は別途対応/チタン製は標準）

 <p>V溝加工</p> <p>廻り止め羽根</p> <p>防水皿の廻り止め羽根のあるほうが現地施工配管との接続側です。特注対応品で廻り止めが無い場合は V 溝加工面が防水層側です。</p>	 <p>アンカーボルトで3ヶ所固定して下さい。M5AYボルト使用の場合は下穴はΦ8.5、深さ35mmです。防水皿の穴加工はΦ7×M5用皿が3ヶ所です。使用可能なボルトは、M5皿小ねじ、M5トラス小ねじ、M6なべ小ねじ、M6トラス小ねじです。</p>	 <p>スリーブを埋め戻して下さい。</p>
--	--	---

循環金具の配管接合の説明（一般清水用）

循環金具

	<p>底面循環金具 底面角型循環金具 排水金具</p>	<p>CS 型 SK4 型 CH 型</p>	<p>製品側がめねじです 耐食性のある金属ニップル 又はバルソケを接続して下さい</p>
	<p>塩ビアダプター・片ねじ調節管付 底面循環金具 塩ビアダプター・片ねじ調節管付 排水金具 塩ビアダプター・片ねじ調節管付 流量調整機能付吐出金具</p>	<p>CSPAHA 型 CHPAHA 型 SUCPAHA 型</p>	<p>製品側がめねじです 耐食性のある金属ニップル 又はバルソケを接続して下さい</p>
	<p>側面・底面兼用循環金具 側面循環金具 吐出金具 流量調整機能付吐出金具</p>	<p>CU 型 U4Z 型 T4 型 SUC 型</p>	<p>製品側がめねじです 耐食性のある金属ニップル 又はバルソケを接続して下さい</p>

循環金具 目皿部

	<p>底面循環金具 目皿部 底面角型循環金具 目皿部 排水金具 本体部 床排水金具 流量調整機能付吐出金具 目皿部</p>	<p>CS・G 型 SK4・GB 型 CH・G 型 S・G 型 SUC・G 型</p>	<p>製品側がめねじです 耐食性のある金属ニップル 又はバルソケを接続して下さい</p>
	<p>塩ビ管差込みアダプター付 底面循環金具 目皿部 塩ビ管差込みアダプター付 排水金具 本体部 塩ビ管差込みアダプター付 流量調整機能付吐出金具 目皿部 塩ビ管差し込み型 側面循環金具 目皿部</p>	<p>CS・GPA 型 CH・GPA 型 SUC・GPA 型 UN2・GPA 型</p>	<p>製品側が塩ビアダプターです 片ねじ調節管又は塩ビ管の 内径側に差し込んで接着して 下さい</p>
	<p>側面・底面兼用循環金具 目皿部 側面循環金具 目皿部 吐出金具 目皿部</p>	<p>CU・G 型 U4・G 型 T4・G 型</p>	<p>製品側がおねじです CF型防水皿か耐食性のある めねじ継手に接続して下さい</p>
	<p>挟み込み循環金具 挟み込み循環金具 ロング 排水金具 挟み込み型 陶器用挟み込み循環金具 陶器用挟み込み排水金具</p>	<p>ULSSZ 型 ULSLZ 型 ULHS 型 ULSMZc 型 ULHSM-c 型</p>	<p>製品側がめねじです 耐食性のある金属ニップル 又はバルソケを接続して下さい</p>

循環金具の配管接合の説明（温泉・海水用）

循環金具

	<p>底面循環金具 チタン製 底面循環金具 排水金具</p>	<p>SST 型 SSP 型 HSP 型</p>	<p>製品側がめねじです 耐食性のある金属ニップル 又はバルソケを接続して下さい</p>
	<p>塩ビアダプター・片ねじ調節管付 底面循環金具 チタン製 塩ビアダプター・片ねじ調節管付 底面循環金具 塩ビアダプター・片ねじ調節管付 排水金具</p>	<p>SSTPAHA 型 SSPPAHA 型 HSPPAHA 型</p>	<p>製品側がめねじです 耐食性のある金属ニップル 又はバルソケを接続して下さい</p>
	<p>側面循環金具 吐出金具</p>	<p>UP Z 型 TP 型</p>	<p>製品側がめねじです 耐食性のある金属ニップル 又はバルソケを接続して下さい</p>

循環金具 目皿部

	<p>底面循環金具 目皿部 チタン製 底面循環金具 目皿部 排水金具 本体部</p>	<p>SST・G型 SSP・G型 ネジ式 HSP・G型</p>	<p>製品側がめねじです 耐食性のある金属ニップル 又はバルソケを接続して下さい</p>
	<p>塩ビ管差込みアダプター付 底面循環金具 目皿部 チタン製 塩ビ管差込みアダプター付 底面循環金具 目皿部 塩ビ管差込みアダプター付 排水金具 本体部</p>	<p>SST・GPA型 SSP・GPA型 HSP・GPA型</p>	<p>製品側が塩ビアダプターです 片ねじ調節管又は塩ビ管の 内径側に差し込んで接着して 下さい</p>
	<p>側面吸込金具 目皿部 吐出金具 目皿部</p>	<p>UP・G型 ネジ式 TP・G型 ネジ式</p>	<p>製品側がおねじです F₂チタン型防水皿か耐食性 のあるめねじ継手に接続して 下さい</p>
	<p>側面吸込金具 目皿部 吐出金具 目皿部</p>	<p>UP・G型 パイプ式 TP・G型 パイプ式</p>	<p>製品側が HTVP パイプです TSソケットの受け口を持った エルボやソケットに接着して 下さい</p>
	<p>底面循環金具 目皿部</p>	<p>SSP・G型 ソケット式</p>	<p>製品側がソケットです 塩ビ配管を直接差し込んで 接着して下さい</p>



目皿（スリット部）の取り外し方法

	底面循環金具 CS シリーズ 側面・底面兼用循環金具 CU シリーズ	ビス取外し
	側面循環金具 U4 シリーズ 底面角型循環金具 SK4 シリーズ	ビス取外し
	吐出専用金具 T4 シリーズ	ビス取外し
	流量調整機能付吐出金具 SUC シリーズ	巢の部分のみ反時計方向に回転 (ねじ式です)
	挟み込み循環金具 ULSSZ シリーズ ULSLZ シリーズ ULSMZc シリーズ	ビス取外し
	底面循環金具 SSP シリーズ SST シリーズ	ビス取外し
	側面吸込金具 UP シリーズ UN2 シリーズ	ビス取外し
	吐出専用金具 TP シリーズ	ビス取外し
	床排水金具 S シリーズ	巢の部分のみ反時計方向に回転 (ねじ式です)
	浴槽排水金具 CH シリーズ HSP シリーズ 挟み込み排水金具 ULHS シリーズ ULHSM-c シリーズ	専用ハンドルで抜栓 ・HSPとULHSは同一ハンドルです CHと共用は出来ません

お手入れの方法

中性洗剤を使用し、柔らかい布で汚れを拭き取って下さい。ヌメリが残らない様にご注意下さい。

点検

目皿の浮き上がり・ビスの浮き・腐蝕等は、安全の為にご使用前に必ず確認して下さい。

循環金具の基準水量

■吸込み側に使用する金具

ろ過循環又はジェットバスシステムの吸込用は目皿の開口面積が小さすぎると目皿表面の流速が早くなり、入浴者が吸付かれたりポンプのキャビテーションの原因となりますので適正条件で計画された配管の断面積に対して200～300%の開口率を確保できる個数を設置して下さい。

さらに一個で満足する開口率であっても閉塞を考慮し必ず最低数を二個以上として下さい。

■吐出側に使用する金具

ろ過又はジェットの関連設備機器に対する影響は100～150以上の開口率で問題ありませんが、浴槽内の水流分布と入者の安全性、快適性を考慮し、二個以上（大きい浴槽は三以上）の取付けをおすすめします。

■基準水量は吸込み側に使用する場合は2倍で

■底面循環金具



口径	開口率	基準水量
32A	490%	60 L/min
40A	295%	90 L/min
50A	265%	162 L/min
65A	155%	164 L/min
80A	300%	419 L/min
100A	180%	424 L/min

- 浴槽底面取付け用金具です。
- 調節管を組み合わせる場合は、テーパネジ側を接続して下さい。
- 設置箇所は入浴者の集まる所や通路となりやすい所を避けて下さい。
- 目皿の緩みなど、定期的に安全点検を行って下さい。

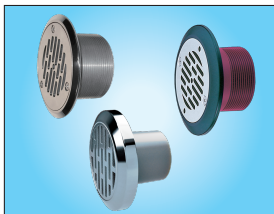
■底面角型循環金具



口径	開口率	基準水量
25A	1100%	30 L/min
32A	710%	60 L/min
40A	1110%	90 L/min
50A	690%	170 L/min
65A	680%	300 L/min
80A	510%	420 L/min
100A	300%	707 L/min

- 浴槽底面取付け用金具です。
- 設置箇所は入浴者の集まる所や通路となりやすい所を避けて下さい。
- 目皿の緩みなど、定期的に安全点検を行って下さい。

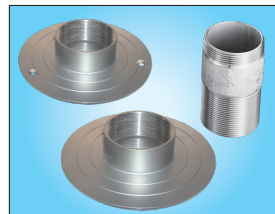
■側面循環金具



口径	開口率	基準水量
25A	72%	11 L/min
32A	61%	14 L/min
40A	63%	24 L/min
50A	53%	32 L/min
65A	46%	49 L/min
80A	57%	80 L/min
100A	62%	146 L/min

- 浴槽側面取付け用金具です。底面への取り付けは出来ません。
- 開口率が小さいのでご注意下さい。
- タイル施工後取付けを行って下さい。

■防水皿 ■調節管



- 接続管はストレートネジ側を防水皿にテーパネジ側を目皿部にねじ込んで下さい。

- 防水層貫通金具です。
- ツバ面の溝加工側が防水層（浴槽内側）方向です。
- スリーブは廻り止め羽根の位置まで確実に埋め戻しを行って下さい。

■挟み込み循環金具



口径	開口率	基準水量
32A	61%	14 L/min
40A	63%	24 L/min
50A	53%	32 L/min
65A	46%	49 L/min
80A	57%	80 L/min
100A	62%	146 L/min

- 浴槽側面取付け用金具です。底面への取り付けは出来ません。
- 開口率が小さいのでご注意下さい。
- 二枚のゴムパッキンを浴槽内側と外側に使用して下さい。PPパッキンは外側のゴムパッキンとナットの間に挟み込んで下さい。
- 締付けは本体を回転させずナットにて行って下さい。

■その他

- ABS樹脂/SUS316製の温泉対応品の耐熱温度は55℃です。
- 温泉対応品の接続方法の内
ソケット式：VPソケット規格品です。
パイプ式：製品側がHTVP規格のパイプです。
- 温泉対応品のパイプ接着式は底面循環金具はVP接着剤、側面と吐出金具はHT接着剤を使用して下さい。